

ソーシャルメディア時代の新しい働き方
『コワーキング(Coworking)』 応援プロジェクト

【Sapporo Coworking Wakeup Project】 札幌 コワーキング ・ウェイクアップ・プロジェクト

2012年 3月16日

経済産業省 北海道経済産業局

札幌市

北洋銀行

北海道大学 大学院 経済学研究科

地域経済経営ネットワーク研究センター(REBN)

【お問い合わせ先】

＜札幌コワーキング・サポーターズ 事務局＞

経済産業省 北海道経済産業局

地域経済部 新規事業課

電話: 011-709-2311(内線2583、2584)

FAX: 011-709-1786

E-mail: hokkaido-shinki-renkei@meti.go.jp



1. コワーキング(Coworking)と本プロジェクトについて

コワーキング(Coworking)とは、ソーシャルメディアの普及により「企業や組織に所属しない(または組織・企業の枠を越えて)様々な能力を持つ人たちが集い、ノウハウを共有し、コラボしながら仕事を行う」という新しい働き方。若手フリーランスやIT系、クリエイティブ系、新興ベンチャー、社会起業家等を中心に急拡大中。

このコワーキングが行われる場が「コワーキング・スペース(Coworking Space)」。一般的なネットカフェや単なるシェアスペースとは異なり、ネット環境だけでなく、利用者同士のコミュニケーションが推奨される環境(仕切りが無いオープンなスペース、勉強会・イベントの開催、情報交換の掲示板、会議室等)が整えられている。また、スペース運営者も、単なる場所の管理だけでなく、利用者同士の引き合わせやコラボの誘導を積極的に行い、オープンイノベーションの場として、全国的に急速な広がりを見せている。

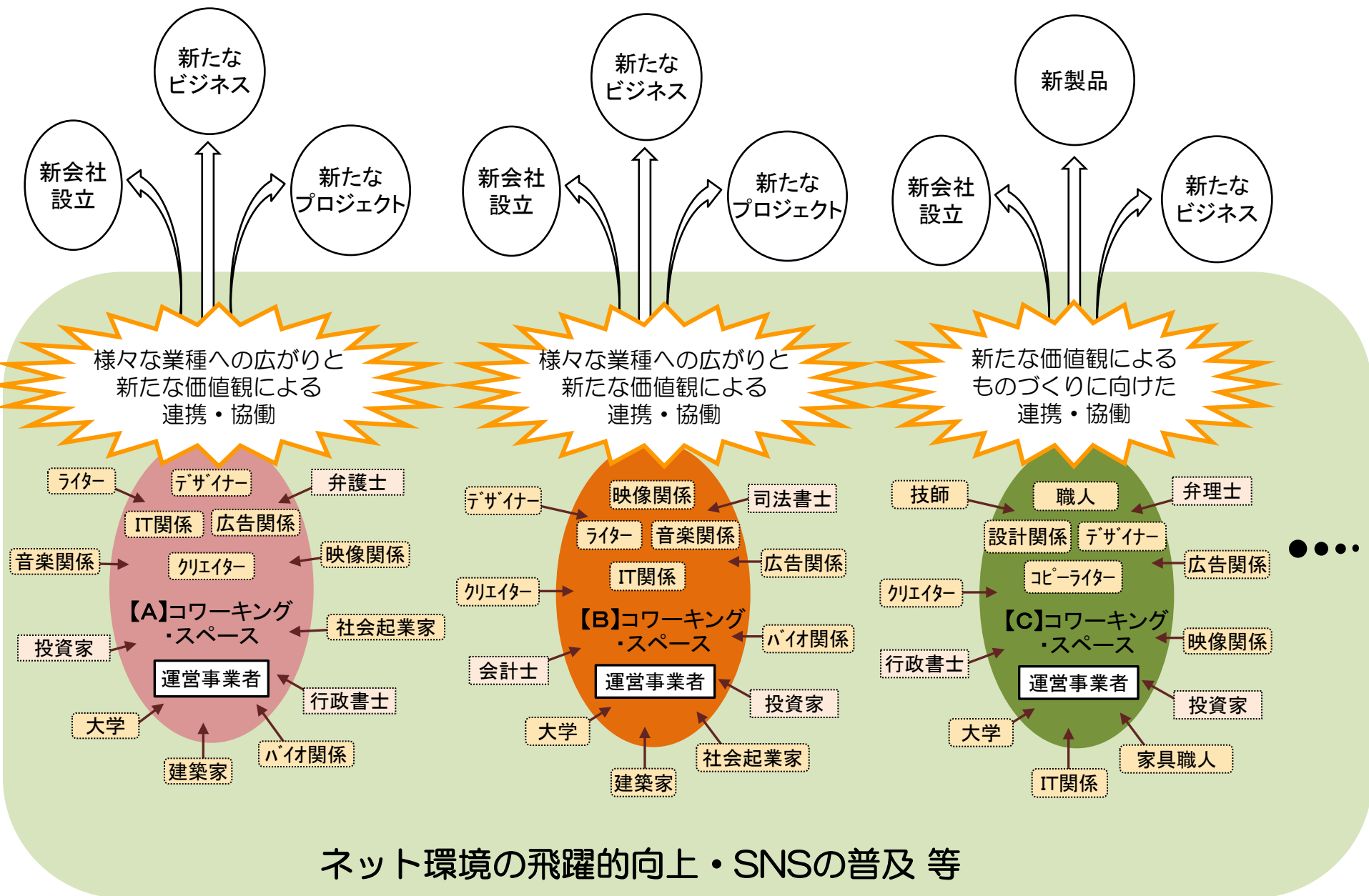
このような動きは、これまでになく価値と新たなビジネスの創造やその連鎖的拡大の可能性を秘めており、今後、大きなムーブメントとなり得るもの。

この新たな動きを加速し、札幌をメッカとするために、北海道経済産業局、札幌市、北洋銀行、北海道大学大学院 経済学研究科 地域経済経営ネットワーク研究センター(REBN)の4機関が連携して、平成24年3月15日、金融・大学・行政による全国初の組織「札幌コワーキング・サポーターズ(SCS)」を結成。

これまでになく新たなビジネスの創造・拡大が期待される「コワーキング」(Coworking)の目覚めや動きを応援する『札幌コワーキング・ウェイクアップ・プロジェクト』を展開する。



2. コワーキング(Coworking)に期待される新たな広がり



3. コワーキング・スペース(Coworking Space)の状況

(1) 全国的動向

- 2000年台半ばのサンフランシスコが発祥とされるコワーキング・スペースは、欧米中心に世界中に急拡大。IT系から非IT系のバイオやものづくり等への進化が続き、大学と連携した教育や投資家の集まる場所にもなっている。日本では2009年が始まりとも言われており、現在、今後の開設予定も含め80カ所以上のコワーキング・スペースが確認されている。さらに地方都市にも広がりを見せており、大企業や地方金融機関等がコワーキング・スペースを設置、提供する動きも出ている。
- また、欧米と同様に、日本でもIT系からものづくりなど非IT系へ広がり、これに日本風のアレンジ(女性専用、茶室利用等)が加わり独自の発展の兆しがみられる。

(2) 北海道のコワーキング・スペース

- 道内では、昨年11月に道内初のコワーキング・スペース「Garage labs<ガレージラボ>」が札幌市内にオープン。また、札幌市内において新たなスペースの開設の動きがあり、この他にも道内において開設が検討されている。

◆ Garage labs<ガレージラボ> (<http://garage-labs.jp/>)

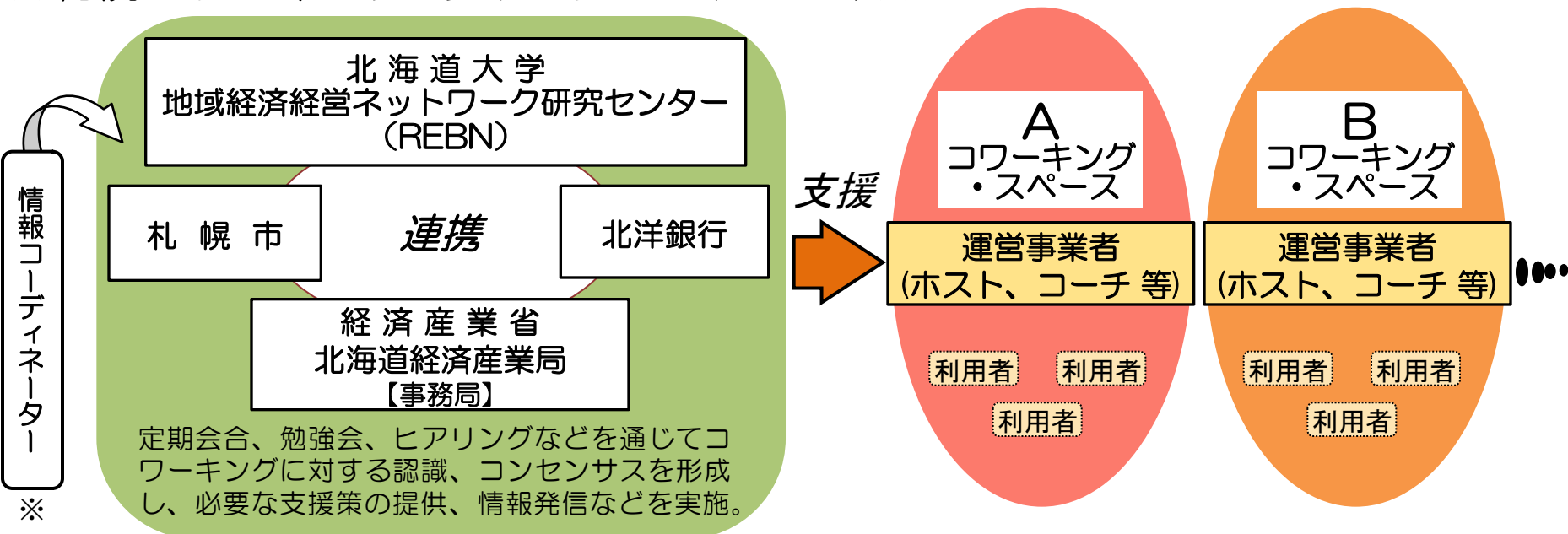
- Open : 2011年11月19日
- 所在地 : 札幌市中央区北3条西14丁目2-2
- 運営 : (株) 24-7 (web制作)
- 営業時間 : 平日11時~22時、土曜11時~18時
- 料金 : 無料
- 収容人数 : 16人程度
- 設備 : 電源/インターネット接続 /Wi-Fi接続環境/会議室/自動販売機/電子レンジ/電気ポット/冷蔵庫/マッキングボード/ジョブボード/自由本棚/プリンタ/テレビ/プロジェクタ/モニター/ホワイトボード/マイク/ミキサー/ScanSnap/裁断機 等



4. 支援スキーム

- 厳しい経済状況の北海道では、開業・起業による経済循環やビジネス機会、雇用等の拡大が求められている。このような中、コワーキングという新しい価値観の新しい働き方は、これまでにない価値と新たなビジネスの創造やその連鎖的拡大の可能性を秘め、今後、大きなムーブメントとなり得るもの。
- このコワーキングの動きを加速させるために、北海道経済産業局、札幌市、北洋銀行、北海道大学大学院経済学研究科 地域経済経営ネットワーク研究センター(REBN) の4機関が連携し、平成24年3月15日、金融・大学・行政による全国初の組織「札幌コワーキング・サポーターズ(SCS)」を結成。利用者の自主性を尊重しつつ、コワーキング・スペース運営事業者(コーチ、ホスト等)と連携しながら、コワーキングという新しい働き方に合わせた、新たな支援を行う。

★札幌コワーキング・サポーターズ(SCS)★



※ 情報コーディネーター：北海道大学大学院地球環境科学研究院
GCOE上級コーディネーター 渡辺保史 氏

5. 支援内容

札幌コワーキング・サポーターズ(SCS)は、利用者の自主性を尊重しつつ、コワーキング・スペース運営事業者(ホスト、コーチ等)と連携しながら、ニーズに応える形でコワーキング活動の支援を行っていきます。

●ビジネス課題の解決に向けた情報提供・アドバイス

コワーキング・スペース利用者が抱えるビジネス課題（会社設立、資金、研究開発、商標、スタートアップルーム等）等について、運営事業者を通じて、支援制度に関する情報提供、支援機関の紹介、アドバイス等を実施する。

●専門家等の派遣

運営事業者が実施する勉強会・セミナー等に専門家、アドバイザーを派遣する。

●ビジネス機会の提供

ビジネスアイデアコンテストやビジネスパートナー・プロジェクトパートナーとのマッチングを実施する。

●普及啓発イベントの開催

コワーキングに関するムーブメントの拡大を図るため、運営事業者と連携した普及啓発イベント（シンポジウム、セミナー等）を開催する。

●巡回サービスの実施

運営事業者・利用者のニーズに合わせ、メンバーによる巡回サービスを実施する。

【参考】

～ 各機関の担当部署 ～

<事務局>

経済産業省 北海道経済産業局

地域経済部 新規事業課

札幌市

経済局 産業振興部 経済企画課

北洋銀行

地域産業支援部 ものづくり・新事業推進室

北海道大学

大学院 経済学研究科
地域経済経営ネットワーク研究センター(REBN)

～ 協力 ～

情報コーディネーター

北海道大学大学院地球環境科学研究院
GCOE上級コーディネーター 渡辺保史 氏